

2023 年度 日本小児耳鼻咽喉科学会 理事会議事録

日時:2023 年 7 月 4 日(火) 18 時 00 分~19 時 00 分

場所:Web 会議(Zoom)

出席者:伊藤真人(理事長)、足立雄一、小林一女、阪本浩一、竹内万彦、田中 学、田中康広、土井勝美、中川尚志、二藤隆春、兵頭政光、増田佐和子、三輪高喜、守本倫子、吉原重美(理事)、後藤友佳子、望月博之(監事)、飯野ゆき子(顧問)、有本友季子、香山智佳子、小森 学(幹事)、原真理子(年次幹事)、深美 悟、益田 慎(アドバイザー)、土橋奈々(APOG2023 年次幹事)、早坂駿吾(事務局)

伊藤真人理事長挨拶

本理事会は出席者と委任状で定足数を満たしていることが報告された。議事録署名人には小林理事と阪本理事が指名された。本理事会開催にあたっての挨拶を述べられた。

I. 報告事項

1. 庶務報告(守本理事)

1-1. 2022 年度事業報告

1. 第 17 回日本小児耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会を 2022 年 7 月 21 日~22 日の 2 日間、富山県富山市において富山大学小児科 足立雄一会長のもとに現地+オンデマンドのハイブリッド方式にて開催した。
2. 第 18 回日本小児耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会を 2023 年に国立成育医療研究センター耳鼻咽喉科 守本倫子会長のもと大分県別府市で開催に向け準備をした。
3. 第 9 回アジア小児耳鼻咽喉科学会(9th Asia Pediatric Otolaryngology: APOG2023)を 2023 年に九州大学耳鼻咽喉・頭頸部外科 中川尚志会長のもと大分県別府市で開催に向け準備をした。
4. 日本小児耳鼻咽喉科学会誌 第 43 巻 1 号、2 号、3 号を刊行した。
5. 理事会を 2022 年 7 月 20 日に、臨時理事会(Web 開催)を 2023 年 2 月 27 日に、それぞれ開催した。
6. 評議員会を 2022 年 7 月 20 日に開催した。
7. 次期役員選挙を郵送にて行った。
8. その他学会活動を行った。

9. 日本小児耳鼻咽喉科学会 会員数:2023 年 3 月 31 日現在

正会員	1,208 名
名誉会員	3 名
購読会員	13 名
寄贈会員	3 名
<hr/>	
合計	1,227 名 (前年度 1,225 名)

(入会者 135 名(臨時会員含む)、退会者 54 名(物故者 1 名、購読会員 1 名含む))

1-2. 2020 年度会費～2023 年度会費未納者の自然退会について

2020 年度会費～2023 年度会費未納者について、会則第 9 条第 2 項に基づき、自然退会とすることが報告された。

2. 会計(土井理事)

特に報告事項なし。

3. 学術誌編集(二藤理事)

学会誌のオンラインジャーナル化に向けて準備を進めているが、評議員会の承認を経ていないため、評議員会にて改めて報告の上、異議がなければ本格的に進めていく予定であることが報告された。

4. ホームページ広報(田中[学]理事)

学会誌のオンラインジャーナル化に伴うホームページの更新を検討していることが報告された。また、バナー広告の掲載に向け、準備を進めていることが報告された。

5. 会員教育(足立理事)

学会ホームページ内の会員専用ページにて、第 16 回・第 17 回の総会・学術講演会のシンポジウムの動画を掲載したことが報告された。

6. 保険医療(吉原理事)

特に報告事項なし。

7. 会則(兵頭理事)

特に報告事項なし。

8. 学術(国際)(中川理事)

第 9 回アジア小児耳鼻咽喉科学会(9th Asia Pediatric Otolaryngology : APOG2023)における、現在の準備状況が報告された。

9. 学術(国内)(小林理事、田中〔康〕理事)

9-1. 第125回日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会学術講演会の企画案および第38回日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会秋季大会専門医講習会の件(小林理事)

日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会より依頼のあった第125回日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会総会・学術講演会の企画への協力をお願いについて、プログラム案を提案したことが報告された。また、第38回日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会秋季大会専門医講習会についても、現在、日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会への提案提出に向け、準備を進めていることについても報告された。

9-2. 耳鼻咽喉科学用語解説集の改訂の件(田中〔康〕理事)

日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会より依頼のあった「耳鼻咽喉科学用語解説集」改訂作業のご協力をお願いについて、学術(国内)委員会の耳鼻咽喉科の委員にて作業を行い、提出を完了したことが報告された。

10. 将来計画(代:伊藤理事長)

ペガサス基金助成案について、2022年7月の理事会以降に理事の先生方よりいただいたご指摘を反映させた案の内容について報告された。また、次期執行部にて「研究助成選考委員会」(案)を立ち上げ、助成対象者や助成額を決めていくことなど、本格的に運用していくことについて報告し、理事の賛同を得た。

11. ダイバーシティ推進(D&I)(代:伊藤理事長)

第123回日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会総会・学術講演会の会期中に「耳鼻咽喉科男女共同キャリア支援懇談会」が開催されたことが報告された。

12. 小児科領域企画推進事業(足立理事)

小児OSA診療の現状について取りまとめたものを、小児科のデータを中心に小児科系の学会誌に掲載する方向で準備を進めていることが報告された。また、2022年10月~11月に実施した「小児アレルギー性鼻炎診療実態調査」についても、アンケート結果を取りまとめて報告できるよう準備を進める予定であることが報告された。

13. 専門医制度WG(田中〔康〕理事)

小児難聴相談医制度の創設について、日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会主導で、日本聴覚医学会、日本耳科学会、および本学会から委員を輩出し、検討を進める予定であることが報告された。

14. その他

14-1. メール審議報告・情報配信報告(伊藤理事長)

前回理事会(2022年7月20日開催)以降のメール審議の内容および情報配信の内容が報告された。

14-2. 日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会・関連する学会会議出席報告(伊藤理事長)

第 124 回日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会総会・学術講演会会期中に開催された「第 60 回日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会・関連する学会会議」に出席し、日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会から、1) 検査実技に関する講習の受講を専門医試験の受験要件とする予定であること、2) 国内学会へ諸外国有力者を招待していただきたいこと、3) 診療ガイドライン等の内規については、厚生労働省・AMED 等の研究班報告についての評価も実施していること、などの報告を受けたことが報告された。

14-3. 第 17 回日本小児耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会会計報告(足立前会長)

第 17 回日本小児耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会(2022 年 7 月 21 日～22 日開催)の決算が報告された。

14-4. 第 18 回日本小児耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会準備状況報告(守本会長)

第 18 回日本小児耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会における、現在の準備状況が報告された。

14-5. 第 19 回日本小児耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会準備状況報告(竹内次期会長)

第 19 回日本小児耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会における、現在の準備状況が報告された。その中で、2024 年 7 月 10 日(水)の 15 時より理事会、同日 16 時 45 分より評議員会を、それぞれ開催予定であることが報告された。

14-6. 第 20 回日本小児耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会準備状況報告(代:伊藤理事長)

第 20 回日本小児耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会における、現在の準備状況が報告された。その中で、2025 年 6 月 19 日(木)～20 日(金)に、岡山県倉敷市内で開催予定であることが報告された。

II. 審議事項

1. 2022 年度決算報告(土井理事)

2022 年度日本小児耳鼻咽喉科学会決算(2022 年 4 月 1 日～2023 年 3 月 31 日)および資産が報告された。その中で、故・鈴鹿有子先生より受領した寄付金(合計 2,000 万円)につき、特定資産に移す措置を講じたため、約 2,000 万円の赤字決算になったことが報告された。本件、審議され、承認された。

2. 会計監査報告(望月監事)

2022 年度日本小児耳鼻咽喉科学会決算を監査した結果、適正であることが報告され、承認された。

3. 2023 年度事業計画(案)(守本理事)

1. 第 18 回日本小児耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会を 2023 年 11 月 9 日～10 日の 2 日間、大分県別府市において国立成育医療研究センター耳鼻咽喉科 守本倫子会長のもとに開催する。
 2. 第 9 回アジア小児耳鼻咽喉科学会(9th Asia Pacific Pediatric Otolaryngology Group Conference[APOG2023])を、2023 年 11 月 9 日～10 日の 2 日間、大分県別府市において九州大学耳鼻咽喉・頭頸部外科 中川尚志会長のもとに開催する。
 3. 第 19 回日本小児耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会を 2024 年に三重大学耳鼻咽喉・頭頸部外科 竹内万彦会長のもと開催に向け準備する。
 4. 日本小児耳鼻咽喉科学会誌 第 44 巻 1 号、2 号、3 号を刊行する。
 5. その他学会活動を行う。
- 以上、審議され、承認された。

4. 2023 年度予算(案)(土井理事)

2023 年度日本小児耳鼻咽喉科学会予算(2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日)について審議され、承認された。

また、学会誌のオンラインジャーナル化に伴う予算シミュレーションが示され、印刷費などの費用が削減される一方、広告収入や超過ページ代等の収入も減収となるため、財政健全化のための検討が必要であることが説明された。

5. 評議員資格喪失の件(守本理事)

会則第 14 条第 3 項に基づき、2023 年 4 月 1 日現在において満 65 歳を超えられた足立雄一、荒川浩一、井口郁雄、井脇貴子、小川 郁、倉富勇一郎、後藤友佳子、小林一女、鈴木光也、泰地秀信、高瀬真人、武田憲昭、寺本典代、土井勝美、長井今日子、望月博之、米倉竹夫(以上、敬称略)の評議員の資格が喪失となったことが報告され、承認された。

6. Bulletin の作成の件(中川理事)

日本音声言語医学会の例を示しながら、本学会も Bulletin を作成し、世界に日本の小児耳鼻咽喉科の存在感を示すことが必要であることについて説明された。本件は、次期執行部への申し送り事項とした。

7. 新理事・新監事の報告(小森選挙管理委員長)

2023 年 6 月 25 日に役員(理事)選挙の開票作業が実施され、投票用紙郵送件数 106 通、返送件数 87 件、投票率 82.1%で選挙が有効であったことが報告された。なお、監事については定員内(2 名)の立候補者数であったため、選挙は行わなかったことが報告された。選出された役員は下記の通り。

理事 (五十音順)

安達 のどか 埼玉県立小児医療センター耳鼻咽喉科 医長

伊藤 真人 自治医科大学耳鼻咽喉科 教授

小野 滋 京都府立医科大学小児外科 教授
片岡 祐子 岡山大学耳鼻咽喉・頭頸部外科 准教授
肥沼 悟郎 国立成育医療研究センター呼吸器科 診療部長
阪本 浩一 大阪公立大学耳鼻咽喉科 准教授
鈴木 雅明 帝京大学ちば総合医療センター耳鼻咽喉科 教授
田中 学 埼玉県立小児医療センター総合診療科 科長
田中 康広 獨協医科大学埼玉医療センター耳鼻咽喉・頭頸部外科 教授
中川 尚志 九州大学耳鼻咽喉・頭頸部外科 教授
林 達哉 旭川医科大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科 准教授
原 浩貴 川崎医科大学耳鼻咽喉・頭頸部外科 教授
保富 宗城 和歌山県立医科大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科 教授
増田 佐和子 国立病院機構三重病院耳鼻咽喉科 部長
益田 慎 県立広島病院小児感覚器科 主任部長
丸山 裕美子 黒部市民病院耳鼻咽喉科 部長
宮入 烈 浜松医科大学小児科 教授
吉原 重美 獨協医科大学小児科 教授

監事(五十音順)

小林 一女 昭和大学大学院保健医療学研究科リハビリテーション分野 特任教授
望月 博之 東海大学医学部附属八王子病院小児科 特任教授

上記役員について承認され、評議員会にて審議が行われることとなった。

以上

理事長:伊藤真人
庶務担当:守本倫子
庶務副担当:仲野敦子
幹事:有本友季子
小森 学
橋本亜矢子
(文責)香山智佳子